



公益社団法人  
鹿児島県理学療法士協会  
ニュース No.105 (144)

2025. 3. 10

■発行  
公益社団法人  
鹿児島県理学療法士協会  
■発行人 平名章二  
■編集 原口拓人  
■事務局 〒890-0063  
鹿児島市鴨池1丁目48-25  
TEL 099 (203) 0860  
FAX 099 (203) 0865  
■印刷 中礼印刷

総会員 2,529名 (2/7現在)

URL : <http://infokpta.com/>  
e-mail : [infokpta@po.minc.ne.jp](mailto:infokpta@po.minc.ne.jp)



城山公園 (日置市)

目次

研修会報告 専門部より .....	2
研修会報告 学術部より .....	5
研修会報告 スポーツ事業部より .....	6
研修会報告 小児・学校保健事業部より .....	9
研修会報告 鹿児島地区より .....	10
研修会報告 奄美地区より .....	11
研修会報告 種子島屋久島地区より .....	12
研修会報告 始良地区より .....	13
研修会報告 大隅地区より .....	14

研修会報告 西薩地区より .....	16
研修会報告 南薩地区より .....	17
研修会報告 北薩地区より .....	19
投稿論文募集のお知らせ .....	20
高齢者事業部 公開講座 実践報告 .....	21
私と私の職場 .....	22
私のおすすめ .....	23
事務局だより・編集後記 .....	24

## 研修会報告（専門領域研修部）

専門領域研修部理事 岩 森 俊  
部長 戸 田 博 之  
生活環境支援系担当 五十峯 かずみ

### ○令和6年度 専門領域研修部 生活環境支援系研修会

テーマ：理学療法士にも知ってほしい排泄のこと  
～明日から使える排泄動作介助とリハビリテーション～

講師：吉留千恵先生

会場：鹿児島医療技術専門学校

日時：令和6年11月16日（土）14：00～17：10

参加者：11名

今回、「理学療法士にも知ってほしい排泄のこと～明日から使える排泄動作介助とリハビリテーション～」というテーマで研修会を開催いたしました。講師の吉留先生からは、PTとして知っておくべき排泄動作の流れやポイント、排泄動作を安定させるために必要なこと、オムツの実際についての講義がありました。排泄動作については、トイレまでの移動やトイレ環境、排泄動作に必要な身体機能などについて詳細に説明があり、臨床の中で生かせる内容であったと思います。また、今回は排便についての話も詳しくしてもらい、消化管を通過する時間で便の性状が違うことや腸内環境を整えるために必要な食事や薬について理解を深めることができました。その他、排便・排尿チェック表を活用することで排泄周期を確認し、何が問題となっているかを明確にすることで排泄動作を安定させることができるということを教えていただきました。最後に参加者同士でオムツを着用してもらい、当て方によって体の動きが違うことなどを実際に体験してもらうこともできました。

研修会終了後のアンケートでは、「普段なかなかしっかりと習わない分野であり、大変勉強になりました」「今後もケースに合わせたトイレ動作練習などについて聞きたいです」などの意見が挙がっており、今後もより多くの会員の方々と一緒に学ぶ機会を設けていきたいと思えます。会員の皆様引き続きよろしくお願いいたします。



## 研修会報告（専門領域研修部）

専門領域研修部理事 岩 森 俊  
部長 西 洋 樹  
担当 坂 元 将 也

### ○令和6年度 専門領域研修部 呼吸器系研修会

テーマ：「胸部レントゲンとCTのみかた」

講師：鹿児島生協病院副院長 山口浩樹先生

会場：谷山生協クリニック

日時：令和6年12月8日（日） 9:00～12:10

参加者：23名

今回は鹿児島生協病院副院長 山口浩樹先生にお願い致しまして「胸部レントゲンとCTのみかた」というテーマにて研修会を開催致しました。23名の会員に参加頂きました。

座学での研修ではありましたが、胸部レントゲンと胸部CTをみる際の基本から臨床問題として症例を提示して頂き臨床の現場ですぐに活かせる内容でした。また、医師の立場から、患者に一番身近で接している理学療法士として理解してほしい「皮下気腫」や「肺結核」の画像も提示して下さいました。

質問では、今回の研修内容に対する質問の他にも、講師の専門分野でもある感染に関する質問もあり、多くの質問に答えて頂きました。

今年度の呼吸器系研修会は、今回の研修の1回のみでした。来年度は、2回開催予定ですので、皆様のご参加をお待ちしております。



## 研修会報告（専門領域研修部）

専門領域研修部理事 岩 森 俊  
部長 西 洋 樹  
運動器系担当 牛ノ濱 政 喜

### ○令和6年度 専門領域研修部 第2回 運動器研修会

テーマ：足部機能障害の診方（基礎編）

講師：白尾 恭宏 先生

会場：今村総合病院スポーツ整形外科リハビリセンター

日時：令和6年12月15日（日）

参加者：18名

令和6年12月15日（日）、場所は今村総合病院スポーツ整形外科リハビリセンターにて、第2回運動器研修会を開催いたしました。講師は、今村総合病院の白尾恭宏先生（運動器専門理学療法士・日本徒手理学療法研修会監事）に『足部機能障害の診方（基礎編）』というテーマでお願いいたしました。

今回の参加者は20名定員の18名で、あまりない足関節の講義でしたので、比較的経験年数の高い先生方が多かった印象でした。講義では足関節機能の解説、解剖学的な構造、評価のポイントの説明の後、実技へと移行し、触診時のランドマークとなる部分や徒手療法時の注意事項をデモンストレーションを行って頂きました。参加者の先生方も積極的に質問されて、触診術を体験されておりました。講義途中では、先生が体験された症例や、研究発表、国内外の文献など、様々な話が聞けました。先生のおっしゃられた『量よりも質を高めるリハビリテーション』を臨床にいかせていけたらと思います。

来年度から感染症対策での制限をもとに戻して、参加者数を従来の30名にして、開催する予定です。皆様のご参加のほどお待ちしております。



## 研修会報告（学術研修部より）

学術局長 白 尾 麻 美  
業務執行理事 神 田 勝 利  
業務執行理事 木 山 良 二  
部長 福 森 愛 美

### ○令和6年度 学術研修部 研修会

テーマ：下肢装具を用いた脳卒中片麻痺者の歩行能力再建

講師：阿部浩明先生（福島県立医科大学）

会場：鹿児島大学医学部保健学科 インテリジェント講義室

日時：令和7年2月2日（日） 10：00～17：00

参加者：43名

令和6年度第5回学術研修部研修会を上記の通り開催いたしました。

今回は福島県立医科大学の阿部浩明先生にご講演をいただきました。客観的なデータでの治療効果や、実際の治療の様子、症例の前後比較など分かりやすい充実した内容でした。フロアの参加者からも日々の臨床での悩みや治療の工夫に対する質問など、活発な意見交換もあり明日からの臨床につながる有意義な回となりました。

今回の研修会をもって今年度すべての研修会は終了となります。スムーズな研修会運営に際し会員の皆様にはご協力いただきましてありがとうございました。来年度の研修会も現地開催およびオンデマンド配信での開催を計画しています。オンデマンド配信は事情により配信できない場合がありますので、ご了承ください。お申込み、受付にはJPTAアプリが必要ですので、事前にご確認をお願いいたします。



## 研修会報告（スポーツ事業部より）

スポーツ事業部理事 大 渡 昭 彦  
部長 轟 原 与 織  
部長 松 田 史 代

### ○令和6年度 スポーツ事業部 研修会（鹿児島地区）

テーマ：「高校野球児のための肩肘検診」事前研修会  
講 師：吉 田 研 吾 先生（今村総合病院スポーツ整形外科）  
会 場：鹿児島大学医学部保健学科運動療法実習室  
日 時：令和6年11月24日（日）（午前の部）9：00～12：10（午後の部）13：30～16：40  
参加者：（午前の部）23名、（午後の部）19名

### ○令和6年度スポーツ事業部 研修会（奄美地区）

テーマ：「高校野球児のための肩肘検診」事前研修会  
講 師：吉 田 研 吾 先生（今村総合病院スポーツ整形外科）  
会 場：鹿児島県立大島高校  
日 時：令和7年1月12日（日）9：00～12：10  
参加者：8名

令和6年11月24日（日）（鹿児島市地区）、令和7年1月12日（日）（奄美地区）に今村総合病院スポーツ整形外科の吉田 研吾先生にお願いしまして、「高野連委託事業 高校野球児のための肩肘検診の事前研修会」というテーマで、鹿児島大学医学部保健学科運動療法実習室にて行いました。この事業は、昨年度から鹿児島県高校野球連盟と協力して実施している取り組みで、12月と1月に鹿児島市地区4回、奄美地区1回開催予定の「高校野球児のための肩肘検診」の事前研修会として、野球（特に投手）特有のフィジカルチェックをメインに実技を中心とした研修会を実施しました。

高校球児の肩肘検診事業は、県高野連の依頼を受けてサポート活動を行っておりますが、マンパワーが不足しているのが現状です。通常の臨床とは異なり、選手への対応に不安を感じる方もいらっしゃるかと思いますが、本研修会では、丁寧な座学での説明に加え、実技練習まで実施いたします。ご興味のある方は、研修会だけのご参加でも構いませんので、ぜひ一度お越しいただければ幸いです。理学療法の基本となるフィジカルチェックを含め超音波検査など研修会の内容の幅を今後さらに拡大していきたいと思っております。来年度以降もぜひご参加のほど、よろしく願いいたします。



## 事業報告（スポーツ事業部より）

スポーツ事業部理事 大 渡 昭 彦  
部長 轟 原 与 織  
部長 松 田 史 代

### ○令和6年度 スポーツ事業部 コンディショニング術講習 業務受託（鹿児島県下9カ所）

会 場：各鹿児島県警管轄警察署

（本部・中央・枕崎・南さつま・いちき串木野・出水・伊佐湧水・曾於・肝付）

日 時：令和6年10月30日（水）～令和7年2月6日（木）全9回

協力者：理学療法士 9名（各会場1名の理学療法士で対応）

今年度、初の取り組みで鹿児島県警と業務委託を締結し、コンディショニング術講習会として、柔道・剣道・逮捕術における傷害予防のコンディショニング術講習会を行いました。この講習会に先立ちまして10月20日（日）に実施しました事前研修会の参加者より最寄りの地区の方に講師をお願いし、上記9地区・会場で実施しました。

剣道・柔道・逮捕術の競技特性、外傷の特徴と対応、疾患別コンディショニング（肩関節反復性脱臼・膝内側側副靭帯損傷・アキレス腱断裂）および対応したテーピング実技など、各会場の属性や参加人数等に臨機応変に講師の先生方には対応いただき、大変に感謝しております。

鹿児島県理学療法士協会スポーツ事業部としても初の取り組みで、手探り状態のところもありましたが、日頃の臨床力を活かせる委託事業だったかと思えます。予防理学療法や産業理学療法の分野の職域も広がってきており、それらの領域とスポーツ理学療法の分野と重複するような講習会になりました。

県警察コンディショニング術講習会は、公共事業の特性上、入札制度に基づいて実施されております。本会としては今回が初めての入札参加となりましたが、関係者各位のご尽力により、本年度の委託事業を担うこととなりました。講習会は県内全域で開催され、長距離移動を伴う会場、急遽参加者が60名に増加した会場、緊急出勤が発生した会場、開催日が変更になった会場など、講師の先生方にはさまざまな状況に対応していただきました。その結果、県内9会場すべてを無事に開催することができ、「理学療法士」が社会にとって有用な存在であることを広く認知していただけたのではないかと考えております。来年度以降も事業を受託する際には、会員の皆様のご協力をお願いいたたく存じます。今後とも、スポーツ事業部へのご支援をよろしくお願い申し上げます。

## 事業報告（スポーツ事業部より）

スポーツ事業部理事 大 渡 昭 彦  
部長 轟 原 与 織  
部長 松 田 史 代

### ○令和6年度 スポーツ事業部 委託事業（鹿児島地区）

会 場：今村総合病院スポーツ整形リハビリテーションセンター

日 時：令和6年12月8日（日）、12月29日（日）、1月5日（日）、1月19日（日）全4回

協力者：理学療法士のべ86名（+医師）

### ○令和6年度 スポーツ事業部 委託事業（奄美地区）

会 場：鹿児島県立大島高校

日 時：令和7年1月12日（日）

協力者：理学療法士 10名（+医師 1名）

昨年度から鹿児島県高校野球連盟と協力して実施している「高校野球児のための肩肘検診」を今年度は事業受託という形で鹿児島県理学療法士協会スポーツ事業部として取り組みました。12月と1月に鹿児島市地区4回、奄美地区1回開催し、「高校野球児のための肩肘検診」の事前研修会参加者にフィジカルチェックとして全面的協力を賜り、野球（特に投手）特有のフィジカルチェックをメインに実施しました。

少しだけ、高野連とスポーツ障害への取り組みについてお話させていただきます。1993年夏の甲子園大会前、大阪大学医学部整形外科の医師らが投手の肩肘検診を開始しました。その後、1995年春の甲子園大会前の検診から、投手の肩・肘の障害の解明と予防を目的に、理学療法士も加わるようになりました。そして、甲子園大会前の検診が始まってから約30年が経過した現在、鹿児島大学整形外科学の医師と鹿児島県理学療法士協会の会員が協力し、県内200名以上の投手に対する検診事業を実施できるようになっております。これもひとえに、今回の検診にご協力いただいた皆様のおかげと存じます。誠にありがとうございました。昨年度の検診で得られたデータは、第38回鹿児島県理学療法士学会ならびに第11回日本スポーツ理学療法学会学術大会で報告いたしました。今後もスポーツ事業部として学術研究に努めてまいりますので、引き続きご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。理学療法士としての専門性を活かし、鹿児島県のスポーツの発展に貢献できれば幸いです。

## 研修会報告（小児・学校保健事業部より）

小児・学校保健事業部担当理事 山 中 純

部長 小 山 尚 宏

### ○令和6年度 小児・学校保健事業部 研修会（発達サポート研修会）

テーマ：小学生におけるスポーツ活動でのケガ予防

講師：轟原与織先生

形式：ハイブリッド開催（対面＋オンライン）

会場：谷山市民会館

日時：2024年12月21日（土） 10：00～11：30

参加者：21名

「発達サポート研修会（公開講座）」は、障がいの有無に関わらずご本人やそのご家族、また療育関係者、学校・支援学校関係者、そして発達領域に携わる業種が共に学べる場として年2回開催しています。

今年度第2回目の研修会は、今村総合病院でスポーツ障害を中心とした臨床経験を持ち、2023年燃ゆるかごしま国体では、高校野球競技の大会コンディショニングサポートに従事されるなど、臨床以外でも幅広くご活躍されていらっしゃる、理学療法士の轟原与織先生にご講演いただきました。小学校の教諭、養護教諭等を対象として、体育の授業や運動会、部活動など、学校生活の中でのケガ予防について、具体的な運動やストレッチ方法などを多数ご紹介いただき、翌日から教育現場等で活かせる内容になっていたと感じます。

また、今年度もハイブリッド形式で開催することで、離島からのご参加もいただき、オンラインの有益性も再確認できる機会となりました。より多くの方々にご参加いただくために、広報の方法や時期などの検討・見直しもしていきたいと思えます。

研修会後のアンケートでは、学校現場における理学療法士の役割や必要性についてもご理解をいただいた結果が得られました。今後の学校保健分野に関する理学療法士の活動に繋げていけるように、今回の研修会の結果を活かしていきたいと思えます。

次年度も、子どもの発達全般やスポーツ障害、こどもロコモなど、様々な課題に対して、理学療法士として子どもたちや保護者、支援者を支えていけるように活動してまいります。よろしくお願いいたします。



## 研修会報告（鹿児島地区より）

鹿児島地区担当理事 東 幸 太  
鹿児島地区担当理事 岩 森 俊  
鹿児島地区長 上 川 毅 康

### ○令和6年度 第3回鹿児島地区 研修会

テーマ：「肩のリハビリテーション ～肩関節周囲炎の対応と徒手療法～」

講師：鹿島正広先生

会場：天陽会中央クリニック リハビリ室

日時：2025年1月24日（金） 19：00～20：30

参加者：22名

社会医療法人 天陽会中央クリニック リハビリ室にて第3回鹿児島地区研修会を対面にて開催いたしました。

今回、天陽会中央クリニック リハビリテーション部 鹿島正広先生より

「肩のリハビリテーション ～肩関節周囲炎の対応と徒手療法～」について講演賜りました。肩関節周囲炎に対する理学療法を展開する上で必要となる解剖や運動学、実技では肩甲胸郭関節への介入方法や各支持組織の徒手操作方法をわかりやすくご説明していただきました。

今回の研修を通し、様々な学びや気づきを得ることができ、参加者の皆様の臨床での一助になれば幸いです。今後も会員の皆様の臨床に生かせる研修会を企画して参りますので、ご参加の程よろしくお願いたします。



## 研修会報告（奄美地区より）

奄美地区担当理事 弓 場 裕 之  
奄美地区長 當 田 直 哉

### ○令和6年度 第2回奄美地区 研修会

テーマ：徒手理学療法 臨床推論と膝関節の触診・評価・治療

講師：白尾泰宏先生（スポーツ・運動器専門理学療法士）

会場：デイサービス和月龍郷

日時：令和7年2月1日（土）

参加者：10名

令和6年度の第2回奄美地区研修会を令和7年2月1日に、デイサービス和月龍郷にて参加者10名で行わせて頂きました。

講師は、今村総合病院 スポーツ整形外科リハセンター 白尾泰宏先生（スポーツ・運動器専門理学療法士）に、『徒手理学療法 臨床推論と膝関節の触診・評価・治療』というテーマで講義と実技をして頂きました。

研修会の内容としては、徒手理学療法の基礎的な考え方などを講義して頂き、解剖や治療評価方法、最近先生が取り組まれているアプローチ分類などとても興味の沸く内容でした。内容が濃くボリュームのある講義でしたが、的確により伝わりやすく講義して頂き、あっという間に時間が過ぎていました。

実技では、膝の触診から評価、治療展開を実際にして下さり、明日からの臨床にすぐ生かすことのできる内容となったと思います。3時間の研修会ではありましたが、参加者からの質問も多く、まだまだ時間が足りないくらいに内容の濃い時間となりました。

また、白尾先生の雰囲気がとても優しく穏やかであり、質問などに対しても丁寧に受け答えをして下さり、温かい雰囲気で行うことが出来ました。

奄美地区では毎年2回の研修会を予定しております。私たち理学療法士の権利や質の担保のために協会はあるものと考えています。会員の皆様に何が提供できるか模索して、より良い研修会や症例検討会を提供していけたらと思います。今後とも、奄美地区協会運営にご理解ご協力いただけたら幸いです。



## 研修会報告（種子島・屋久島地区より）

種子島・屋久島地区担当理事 弓 場 裕 之

種子島・屋久島地区長 山 口 純 平

### ○令和6年 種子島・屋久島地区 研修会

会 場：今村総合病院スポーツ整形リハビリテーションセンター

テーマ：理学療法における基本的なセラピューティックタッチハンズオンセミナー

講 師：弓 場 裕 之 先生（神経理学療法専門理学療法士）

会 場：種子島医療センター リハビリテーション室

日 時：令和7年1月18日（土） 17：30 ～ 19：30

参加者：23名

今年度より発足しました種子島・屋久島地区の令和6年度第1回研修会を1月18日に対面形式にて開催しました。講師には、鹿児島大学病院 弓場 裕之先生を迎え、実技をメインに研修会が行われました。研修会では、関節可動域練習などの基本的に理学療法をする上での基本的なタッチ、様々なテクニックによるタッチの説明や動かし方やハンドリングやファシリテーションテクニックなどの講義、実技を行うことができました。その中で講師のタッチの仕方やハンドリングを体験することができ、時間も2時間では足りない内容となっており、充実した研修会となりました。

今後も種子島・屋久島地区では臨床に活かせる研修会を開催して参ります。今後ともよろしくお願いたします。



# 研修会報告 (始良地区より)

始良地区担当理事 神 田 勝 利  
部長 福 榮 竜 也

## ○令和6年度 第3回始良地区 研修会

テーマ：発達障害児への支援と連携  
講 師：小 山 尚 宏 先生 (菊野会 菊野病院)  
会 場：Web開催 (Zoom)  
日 時：令和7年1月31日 (金) 19:00 ~ 21:00  
参加者：56名

今年度最後の始良地区研修会では菊野病院の小山尚宏先生をお招きしまして、「発達障害児への支援と連携」と題した講習を実施しました。近年、理学療法分野においても幅広く関わり始めている発達障害について、基礎知識から地域・他機関との連携など、幅広い分野についてご講義いただきました。平日の研修会でありましたが、多くの先生方にご参加いただき小児分野における繋がりにも発展した研修会であったと考えます。今後も学校教育など幅広くなっていくことが予想される小児分野において、今回の研修会が更なる発展のきっかけになれば幸いです。

来年度の始良地区研修会も様々テーマを基に有意義な研修会となるよう企画して参ります。ぜひともご参加いただきますようお願い申し上げます。



菊野病院 としての連携

- 地域の医療機関としての小児リハビリテーションの提供
  - 本人・保護者支援
  - 保育・幼稚園や療育事業所、学校と連携共有 (連携もしくは保護者を通じて間接的に)
- 保育・幼稚園、療育事業所、学校への情報共有
- 特別支援学校の教諭の見学対応
  - 長期休暇 (夏季・冬季) 時に、リハビリの様子を見学
  - リハビリの内容や動きを、学校生活場面や自立活動時間にかかす
- 『子育て教室』の開催
  - ※鹿児島県指定の発達障害広域支援センターとしての活動
  - リハビリテーション専門職による講演会を菊野病院が主催
  - 頻度：年2回
  - 対象：専門職向け (地域の各専門職)、一般向け (保護者)

## 研修会報告（大隅地区より）

大隅地区担当理事 榎 畑 純 二

大隅地区長 永 瀆 良 太

### ○令和6年度 第2回大隅地区 研修会

テーマ：仙腸関節障害による腰痛

講師：新 丈 司 先生

会場：オンライン

日時：令和6年11月14日（木）

参加者：41名

今回は、南風病院九州腰痛・仙腸関節センター理学療法士、新 丈司先生に「仙腸関節障害による腰痛」の演題で御講演いただきました。

講演内容としまして、①腰痛の特徴、②仙腸関節の特徴、③仙腸関節障害の原因、④仙腸関節障害の診断・病態・治療について60分と短い時間ではありましたがご講演いただきました。

仙腸関節の力学的安定について晒し骨など使用してわかりやすく説明していただきました。また病態についても3stageについて各評価・治療について説明いただきました。即時効果を含めた症例提示などもあり大変興味深く、奥深さを感じました。実際の徒手的な手技を含め、実技を踏まえた対面講演の必要性も感じました。今後企画を検討したいと思います。今後とも研修会参加よろしくお願ひします。



# 研修会報告 (大隅地区より)

大隅地区担当理事 榎 畑 純 二

大隅地区長 永 瀆 良 太

## ○令和6年度 第3回大隅地区 研修会

テーマ：理学療法士による病院と地域のスポーツサポート

講師：轟原 与 織 先生

会場：Web開催 (zoom)

日時：令和6年12月6日 (金) 18:30 ~ 19:45

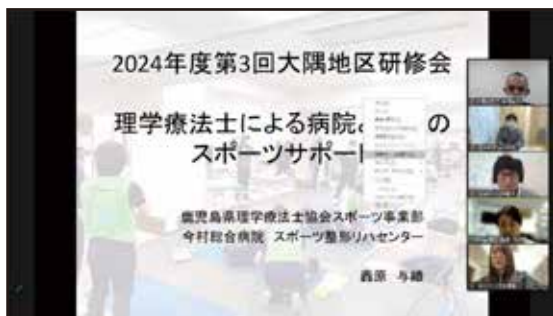
参加者：28名

大隅地区第3回研修会を12月6日にオンラインで開催いたしました。

今回は、鹿児島県理学療法士協会スポーツ事業部 今村総合病院スポーツ整形リハセンター 理学療法士、轟原与織先生に「 理学療法士による病院と地域のスポーツサポート 」の演題で御講演いただきました。聴講者は大隅地区・地区外からも含め、28名の会員の皆様にご参加いただきました。

講演では、勤務されている職場での障害予防教室取り組みを紹介していただきました。鹿児島県では離島の問題もありますが、そこでもスポーツ環境改善を目標に足を運ばれているとのことでした。また、鹿児島県理学療法士協会のスポーツ活動支援活動についても紹介いただき、国体や高校野球肩・肘検診事業への取り組みなど紹介頂きました。後半ではACL術後の膝伸展障害のあるスポーツ選手へのアプローチを紹介頂き、臨床へもすぐに活かせる講演をしていただきました。

以前は各セラピストが単独で動いて開拓していくしかなかった分野ですが、現在では協会などの組織立った活動に参加できるようになってきており、参加しやすい環境が整いつつあると感じました。たくさんの若いセラピストの方に参加して頂き、経験を積んで頂ければと思います。



## 研修会報告（西薩地区より）

西薩地区担当理事 山中 純  
西薩地区長 大久保 鉄 男

### ○令和6年度 第2回西薩地区 研修会

テーマ：肩関節の理学療法 ～アライメント異常に着眼した評価と治療（実技編）～

講師：大久保 鉄 男

会場：神村学園専修学校

日時：令和6年12月6日（金） 19：00 ～ 20：30

参加者：24名

令和6年第2回西薩地区研修会を上記テーマ、日程で開催しました。今回は第1回研修会の実技編として対面形式で行いました。平日の夜にも係わらず、地区内外から定員を超える先生方にご参加いただきました。

第1回の研修会でご紹介頂きました、評価、治療技術を中心に実技練習を交えて、お伝えさせていただきました。ご参加頂いた先生方の熱量を感じながらの実技研修は充実したもので、90分という時間があっという間に過ぎてしまい、後半の内容はかなり駆け足になってしまいました。

ご参加いただいた先生方も真剣に実技練習に取り組まれており、実技練習のある研修会の必要性を改めて感じた時間となりました。

今回の研修がご参加頂いた先生方の臨床の一助になれば有難い限りです。

最後に今回、研修会会場としてご協力頂きました神村学園専修学校の先生方に感謝いたします。



# 研修会報告（南薩地区より）

南薩地区担当理事 山 中 純  
南薩地区長 木 場 涼 介

## ○令和6年度 第2回南薩地区 研修会

テーマ：「老健での理学療法士の関わり、多職種連携について」  
講 師：介護老人保健施設エスポワール立神 平岡明彦先生  
会 場：Zoom  
日 時：令和6年11月28日（木） 19：00 ～ 20：00  
参加者：44名

第2回南薩地区研修会をZoomにて開催いたしました。介護老人保健施設エスポワール立神の平岡明彦先生により「老健での理学療法士の関わり、多職種連携について」というテーマで60分間にわたってお話しいただきました。

内容としまして、介護老人保健施設とはこういった施設なのか、また、現状も踏まえた社会の中での位置付けをはじめにご説明頂いたあと、平岡先生の施設にてどのようにして多職種による連携を行っているのか取り組みのご紹介、事例を用いて具体的にどのように取り組んでいるかのご紹介と、非常にわかりやすくご講義いただきました。動画も用いてご説明いただき、移乗動作をサポートするロボットを使用することによって力の少ないスタッフでも、楽に行えることを多職種で共有し、また義歯の挿入の有無によって歩行能力に違いがあることを教えてくださいました。

また老健での理学療法において、医療現場と違った考え方や、視点の違いがあるということを知ることによって、私たちの現場における取り組み方を変化させていただけるような内容であったかと思えます。ありがとうございました。



## 症例検討会報告（南薩地区より）

南薩地区担当理事 山 中 純

南薩地区長 木 場 涼 介

### ○令和6年度 第2回南薩地区 症例検討会

テーマ：「発症後3ヶ月経過した脳卒中患者の麻痺側下肢に機能的電気刺激とミラーセラピーを併用し歩行が改善した一例」

発表者：医療法人菊野会 菊野病院 総合リハビリテーション部 上久保 春 祈 先生

会 場：Zoom

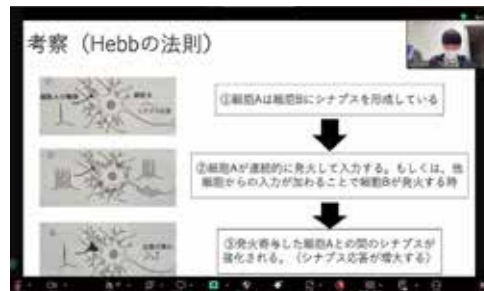
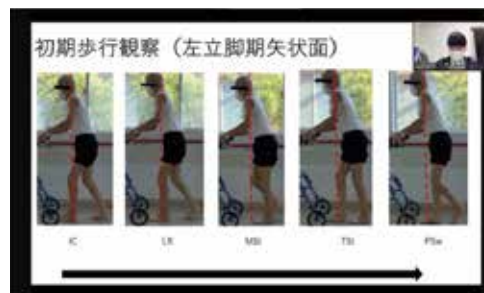
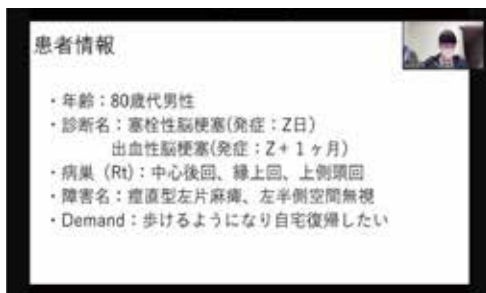
日 時：令和6年12月10日（火） 19：30 ～ 20：30

参加者：38名

第2回南薩地区症例検討会をZoomにて開催いたしました。菊野病院総合リハビリテーション部の上久保春祈先生により「発症後3ヶ月経過した脳卒中患者の麻痺側下肢に機能的電気刺激とミラーセラピーを併用し歩行が改善した一例」という内容にて30分間発表、質疑応答を行いました。

電気刺激療法や、ミラーセラピーを併用して実施され歩行に改善がみられた症例への経験をお伝えいただきました。鏡像を用いて視覚的にフィードバックを行い、左右対称に鏡像を用いて、足関節背屈に焦点を絞ってアプローチを行った結果改善を認め、歩容の改善にも至ったとのことでした。実施に際し、ご苦勞されたこともあったようですが、結果としても歩容の改善を認め、効果的であったケースとの報告でした。発表後、複数の先生方よりご質問をいただきました。時間が足りず、複数の先生方には質問頂けず申し訳ありませんでした。

また、発表に際し、座長を務めていただいた医療法人厚生会 小原病院の下山奈緒美先生、ありがとうございました。また、ご協力いただいた先生方ありがとうございました。



最後になりましたが、令和6年度の南薩地区研修会、症例検討会は無事予定通り終了となりました。ご協力いただいた先生方、この場をお借りしてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。地区編成によりあたらしい南薩地区となって初めての活動ではありましたが、無事に終了できたことを感謝申し上げます。今後も、地区の会員の皆様と協力して楽しく学べる環境づくりに努めていきたいと思っております。

# 研修会報告（北薩地区より）

北薩担当理事 長 嶺 英 博  
北薩地区長 鈴 東 伸 洋

## ○令和6年度 第1回北薩地区 研修会

テーマ：児童発達支援センターにおける理学療法士の役割について①

- ・児童発達支援センターとは
- ・神経発達症とは

講 師：鈴 東 佳 子 先生（児童発達支援センタークオラバンビーノ 発達障害認定理学療法士）

会 場：ZOOMミーティングによるオンライン研修

日 時：令和6年11月27日（水） 18：30 ～ 20：30

参加者：63名

講義では、発達障害の定義や診断基準などの基礎や、児童発達支援の基本的視点（本人支援・家族支援・移行支援・地域支援・地域連携）、児童発達支援センターの利用の流れについて説明していただきました。

また、理学療法士への期待として、①医療職としての視点、②根拠を基にした指導、③療育の主たる保育士、児童支援員との多職種連携を挙げていただき、理学療法士の必要性と子どもたちとそのご家族の生活支援の大切さに理学療法士が役立つことを理解できました。

## ○令和6年度 北薩地区 第2回 研修会

テーマ：児童発達支援センターにおける理学療法士の役割②

- ・地域から医療機関へ期待すること
- ・発達性協調運動症とは

講 師：鈴 東 佳 子 先生（児童発達支援センタークオラバンビーノ 発達障害認定理学療法士）

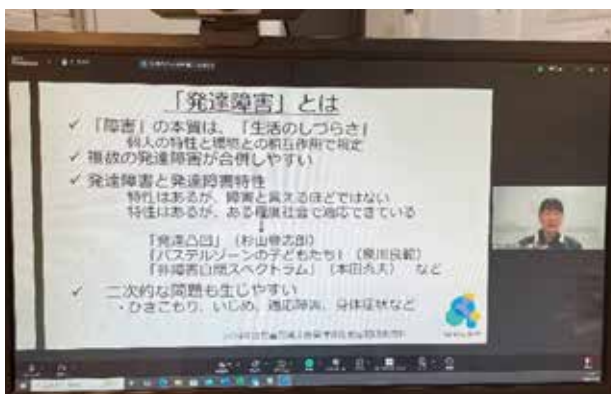
会 場：ZOOMミーティングによるオンライン研修

日 時：令和6年12月20日（金） 18：30 ～ 20：30

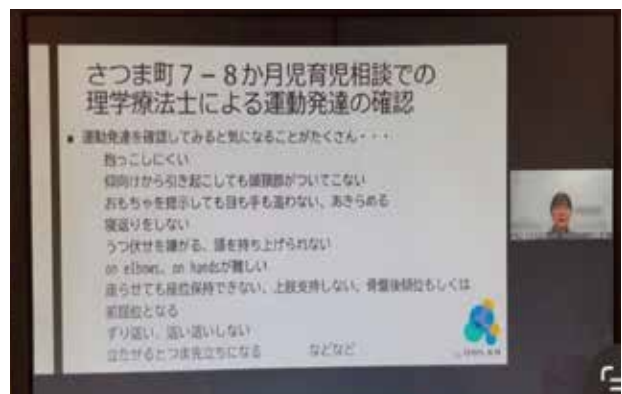
参加者：40名

講義では、理学療法士が行政との健診において、客観的指標となる「遠城寺式乳幼児分析的発達検査」を引用して説明することで、保育士や保健師と共通言語・共通認識を持つことができ、多職種連携をより強化できることを説明していただきました。具体的な仕草や行動を、医学的・専門的な言葉や解釈として説明できることが理学療法士の強みであり、地域から期待されていることが理解できました。

（第1回）



（第2回）



## 投稿論文募集のお知らせ

理学療法かごしま学術誌部

業務執行理事 木山良二  
部長 金谷親好

会員の皆様におかれましては益々ご健勝のことと存じます。

本協会が発刊中の学術誌（理学療法かごしま）は、初版掲載から3年が経過しました。当協会員及び査読委員の皆様のご尽力で継続発刊することができています。改めて、本誌の目的は、鹿児島県理学療法士協会の会誌として、理学療法の学術及び技能の情報公開の場を提供し、理学療法の発展に寄与することです。本誌が、我々協会会員の新たな知見を共有する場となり、臨床や学術活動に対して有益な情報提供の場となることを期待します。投稿・執筆規定につきましても協会ホームページにて公開中ですので、ご確認の上、ご投稿を検討して頂ければ幸いです。採択された論文は、随時オンラインジャーナルのJ-STAGEで公開しております。本誌は、認定理学療法士、専門理学療法士更新に必要な要件にも該当しておりますので、沢山の投稿をお待ちしております。何卒宜しくお願い致します。

- ・ 投稿は随時受付しています。なお、当年度に公開する論文は、**6月30日まで**にご投稿いただいたものになります。
- ・ **県学会へ発表された方**は、後日編集委員よりご連絡する場合があります。



# 学術支援部 研究助成募集期間の延長について

学術支援部担当理事 木山良二  
部長 川田将之

学術支援部では、鹿児島県理学療法士協会における理学療法研究の発展を目的とし、現在令和7年度研究助成の募集を行っております。最大5件、1課題10万円の助成を行っております。令和7年度の申請については、1月6日～2月28日を期間としておりましたが、募集期間を延長し、3月31日までとさせていただきます。

詳細は、鹿児島県理学療法士協会ホームページ内の鹿児島県理学療法士協会研究助成委員会よりご確認ください（下記ポスターのQRコードからもアクセスできます）。

**Check!** 鹿児島県理学療法士協会  
令和7年度研究助成の募集

あなたの研究を支援します

助成金10万円  
最大5件

理学療法  
かごしま  
論文投稿

研究助成でできること

Start of Research

情報発信

申請受付期間 **延長**  
令和7年1月6日～3月31日

令和6年度 採択テーマ

小学校高学年を対象とした姿勢体操指導の課題と展望  
整体TONEUS 大園 省吾

当院入院患者における地域別での特性について  
恒心会おぐら病院 遠藤 翔

慢性腰痛患者に対する体幹トレーニング装置を用いたホームエクササイズ  
の効果の検証  
霧島整形外科 松野 竜工

高齢脊椎疾患患者における胸郭-骨盤加速度と理学療法評価との関連  
重水中央病院 福岡 弘樹

詳細はこちら ➡ <http://infokpta.com/publics/index/161/>  
(鹿児島県理学療法士協会ホームページ)

## 私と私の職場

鹿児島厚生連病院

松木田 浩 介

少しずつ暖かくなり春らしさを感じられる頃となりましたが、鹿児島県理学療法士協会会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。今回は私の職場である「鹿児島厚生連病院」をご紹介します。

私が務める鹿児島厚生連病院は昭和52年にJA組合員・地域住民の健康問題に対応する目的で設立され、最初は巡回検診・人間ドックを中心とした健康管理センターとしてスタートしました。昭和60年に天保山記念病院を取得し、平成8年に鹿児島厚生連病院と名称を改め、平成30年5月より現住所の鹿児島市与次郎へ新病院を設立し、鹿児島厚生連病院と健康管理センターが一体化しました。

「予防から治療にいたる一貫体制」を整えた施設として、人間ドックや巡回検診など検診機能を有した病院となります。また、「鹿児島県がん診療指定病院」として消化器・肝臓・呼吸器を中心としたがん治療を行っております。

当院リハビリテーション科には、理学療法士9名、作業療法士2名、言語聴覚士1名の総勢12名が従事しています。セラピスト全員が、がんリハビリテーション研修を受講しており、がんと診断されてから術前・術後・治療・緩和など様々な場面に応じたアプローチを提供しております。令和3年より訪問リハビリを開始し、地域社会に貢献する一役も担っております。今後も一人一人の患者様に応じた目標支援へ向け、質の高いリハビリテーション・チームアプローチが提供できるようスタッフ一同精進して参ります。



## 私のおすすめ

医療法人 術徳会 霧島整形外科

立部 勇汰

私は理学療法士3年目であり、日頃は整形外科の外来リハビリに従事しています。毎日色々な患者さんに対し治療を行っていますが、未だに初めてみる病態や症状を持っている方に遭遇します。今回はそんな時に参考になった本を紹介したいと思います。

その本とは「関節機能解剖学に基づく整形外科運動療法ナビゲーション—下肢 改訂第2版」です。ご存じの方も多い本だと思います。この本は整形外科リハビリテーション学会が編集しており、2008年に初版が発行され、2014年に改訂第2版が発行されています。下肢における様々な病態について書かれており、股関節は13例、膝関節は36例、足関節および足部は28例が収録されています。それぞれの病態の最初の2ページには診る上で押さえておくべき整形外科的知識や機能解剖学的知識が提示されており、続く2ページには実際の症例経過と具体的な運動療法技術についての解説が載っています。また、本の最後の方には付録として追加の症例や臨床研究なども記載されており、より知見を深めることが出来ます。初めてみる病態や症状に対するベーシックな考え方や治療法を知ることは、治療を発展させるうえでとても重要であり、この本は病態ごとの基本的な知識を得たいという方に打って付けだと思います。実際に、私も足関節の症例を初めて担当した時にこの本を読み、院内での症例報告の際にも参考になりました。日々の診療に少しでも役立てて頂ければ幸いです。



## 事務手続きのご案内・連絡事項

新年度にむけて異動・休会・退会の申請は早めをお願いいたします。  
年会費前納制となったことにより、異動申請により請求手続きに影響する場合がございます。  
詳細は日本理学療法士協会ホームページをご確認ください。

**2025年度の年会費の納入期限は  
2025年3月31日までです!!**

■年会費 **19,000円**

(日本理学療法士協会会費 10,000円 + 鹿児島県理学療法士協会会費 9,000円)  
別途所属学会・研究会・サスグループの会員種別で年会費がかかる先生方は+αとなります。

■会費納入期限 **3月31日**

\*日本理学療法士協会より一括請求になります。また、請求方法により締め切りが異なります。日本理学療法士協会よりお手元に届いたハガキの文書をご確認いただけますようお願い申し上げます。



**3月末日までに年会費の納入をされなかった場合**

**4月より、以下会員権利を全面停止となり、退会手続きが始まります。**

(勤務先都合により事前に連絡のあった方、復会申請中の方を除く)

- ・研修会・学会等への参加申込
- ・会員としての各種演題登録
- ・会報誌・学術誌の発送
- ・理学療法士賠償責任保険の全員加入・任意加入(新規および継続)
- ・選挙権・被選挙権 他

退会後は、**生涯学習履歴は全て無効**となります。

再度入会を希望される際にはあらたに入会手続きが必要となり、すべて再履修いただくこととなります。

### 来年度新入職員が入られる施設の先生方へ

4月から新年度を迎え、新しく職員を受け入れられる施設も多いと思います。  
入会申込後、入会金および年会費の納入を確認したのち、日本理学療法士協会の理事会で承認され、正会員として登録されるため、入会手続き後、正会員承認までは数か月を要します。その為、研修会参加時に登録が完了していない場合、非会員扱いとなってしまいます。入職後、直ちに手続きをされるようご指導をよろしくお願い致します。

\*また、4月20日に新卒者オリエンテーションを企画しています。  
入会手続き中の有無に問わず、参加可能です。詳細は決まり次第県士会ホームページでご案内します。



# 事務局だより

令和6年11月1日～令和7年2月7日現在受理分

## 学術誌

- 鹿児島県医師会報 第881号
- 山形県理学療法士会50年史
- 第75回北海道理学療法士学術大会 抄録集
- 鹿児島大学医学部リハビリテーション医学教室活動報告
- 鹿児島県医師会報 第882号
- 理学療法ジャーナル 第58巻第12号
- 熊本県理学療法士協会学術誌
- 鹿児島県医師会報 第883号
- 第4回山梨県リハビリテーション専門職合同学術大会誌
- 北海道理学療法 Vol. 141. 2024
- 理学療法ジャーナル 第59巻第1号
- NO Limit Vol. 99
- 県薬会報 第190号
- 理学療法兵庫 第30号
- 理学療法ジャーナル 第59巻第2号
- 鹿児島県医師会報 第884号

## ニュース

- 愛知 No. 215 広島 No. 279. 280 兵庫 No. 205
- 和歌山 No. 103 秋田 No.215

## <会員動向> ( (11/1～1/15定期承認まで)

- 入会 9件 県内異動21件 転入 3件
- 転出 5件 休会 6件 復会 8件 退会15件
- \*会員動向に関する詳細は非公開とします。\*
- 会員数 2,529名 会員所属施設数 461施設

## 会長行動録

- 11月1日 県リハビリテーション施設協議会
- 11月6日 在宅医療・介護連携推進協議会
- 11月8日 九州ブロック士会長会議
- 11月9～10日 九州理学療法士学術大会
- 11月11日 3役会
- 11月13日 理事会
- 11月19日 PT・OT・ST連絡協議会理事会
- 11月22日 臨時総会
- 11月28日 田中まさし後援会幹事会
- 12月9日 3役会
- 12月11日 理事会
- 12月17日 県公益法人監査
- 12月19日 県医療推進協議会
- 12月24日 地域リハ広域支援センター担当者等意見交換会
- 1月14日 九州ブロック臨時士会長会議
- 1月17日 JPTA 齊藤会長意見交換会
- 1月19日 県高野連肩肘検診
- 1月20日 3役会
- 1月22日 理事会
- 1月25日 推進リーダーステップアップ研修会



## 編集後記

今年度も終わりが近づいてきましたが、皆様はいかがお過ごしでしょうか？私は今年に入ってから健康のために運動を始めましたが、急激に負荷量を高くしたことで足底部を痛めてしまいました。何事も計画的に行う大切さを改めて実感したところでした。少しずつ暖かくなってきていますが、体調にはお気を付けて過ごして下さい。

広報誌に関してご意見等ございましたら、広報部まで連絡をお願いいたします。

[rihabiri@gyokusyokai.com](mailto:rihabiri@gyokusyokai.com)

広報部 本村 楓